9. 神様の御言葉

神様の御言葉を食べる

「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである」（マタイ 4:4)。これは申命記の 8 章 3 節から引用された、主イエスの驚くべき言葉である。ここでの学びの中心は人々のために主が用意して下さった物である。神様は地から得られる食物以上の物を私たちのために用意されている。神様は聖書を与えて下さった。主イエスが度々引用された旧約聖書、旧約聖書の預言の成就である新約聖書、この聖書で私たちは完全なる神様の御言葉をいただいたのである（２テモテ 3:16; ２ペテロ 1:19-21)。聖書はその中に度々書かれている「主は語られる」というような表現でわかるように、神様が直接、または代理人を通して私たちに語られた御言葉である。神様の御言葉は今も生きていて、私たちのなかで働いてくださる。御言葉は永遠で、その約束は変わらない（１ペテロ 1:23)。その栄光は詩篇 119 に歌われている。聖書は神様からの私たちへのコミュニケーションであると同時に、人間の創造主である主の私たちに対する人生のガイドブックであるので、私たちはこの地上で生活をしていく上で毎日頼りにしていくべきものである。常にそばに置いて読み、書かれていることに従うことは、まさに聖書が私たちに命令していることである（申命 6:6-9)。

聖書の使い方

神様の御言葉を学び、それに従っている人の人生を見ると、数え切れないほど御言葉の力によって、目を見張るような変化が起こされることがわかる。聖書に寄り頼んで生きている人たちが、この書物をどの様に使っているかを見てみよう。

１．救い
神様の御言葉によって新しく生まれるということが可能になる（１ペテロ 1:23)。御言葉が体の中に入ると、その人を「キリスト･イエスにある信仰」によって救いへと導かれる（２テモテ 3:15)。神様の御言葉は信じ、他の人に語り告げるべきものです。

２．霊の食物
預言者は御言葉を食べると言いました。そうする事によって御言葉が魂に受け入れられるのです(エレミヤ 15:16)。御言葉は牛乳（１ペテロ 2:2)、蜂蜜（詩篇 19:10;119:103)、またはしっかりした食物や肉（ヘブル 5:12、14）にたとえられます。霊的な命は御言葉からの栄養によって支えられるのです。

３．成長
御言葉は私たちの魂を正しく導くだけでなく、信仰を強くしてくれます（使徒 20:32)。

霊的成長を遂げるには御言葉という食物を必要とします（１ペテロ 2:2)。

４．賢明さ

教育の価値というのは誰もが認めることですし、それによって人々は賢くなりたいと願います。しかし、聖書は私たちを敵よりも賢明にし、この世の教師よりも理解力を高めてくれます（詩篇 119:99-100)。

５．清め

この世は道徳的に退廃しています。そのような中で心と精神とを清めてくれるのは御言葉です（詩篇 119:9；ヨハネ 15:3)。御言葉は私たちを罪から守ってくれます（詩篇 119:11)。

６．導き

何か問題に直面した時、何をすべきか、誰に相談すべきかは、いつも問題です。御言葉は道を示す光です（詩篇 119:105)。

７．安らぎ

困難や悲しみに会った時に、御言葉は必ず私たちに安らぎと励ましを与えてくれます（詩篇 119:28、50、76；ローマ 15:4）

８．喜び

悲しみに満ちた世の中にあっても御言葉により喜びが与えられます（ヨハネ 15:11)。

９．恵み

聖書の中には御言葉に注意深く従うことによって主の大いなる恵みを受けた事実が多く書かれています（申命記 28:1-8)。この世の成功ではなく、神様の基準に照らし合わせた成功は、御言葉に常に聞き従う者に与えられます（ヨシュア 1:8)。

聖書の取り入れ方

毎日正しく御言葉を受ける方法はたくさんあります。神様に私たちの目を明けて下さるように祈る時（詩篇 119:18)、また聖霊が私たちを導く時（ヨハネ 14:26)、私たちは神様からのパンを心の奥に受け入れることが出来ます。信仰者が霊的に成長するために次のことを心がけることが必要です

１．御言葉を聞く（箴言 28:9；ルカ 19:48）

印刷技術が発明され聖書が手軽に手に入る以前は、人々は教会の礼拝の中でのみ聖書の御言葉を聞くことが出来ました。神様の御言葉が語られる時は真剣に聞く習慣を身につけることが大切です。何が語られているかを考えなければなりません。ノートを取り、他の人と話をする事によって、その内容を覚えることができます。

２．御言葉を読む（申命 17:19；黙示 1:3）

ある計画をもって読むことが大切です。ある量を決めて聖書を毎日読むことです。聖

書の部分部分だけを知るのではなく、全体の内容を知ることは神様の恵みであって私たちに与えられた特権であると同時に、私たちに課せられた使命です。新約、旧約両方に精通することが大切です。

３．御言葉を学ぶ（使徒 17:11；箴言 2:1-5）
聖書の表面を読むだけでなく、内容を深く学ぶことも大切です。重点項目を書くこと、分からない点を聞くこと、調べることです。自分自身に語られた言葉として、御言葉を生活の中に活かしていくことは大変重要です。

４．御言葉を覚える（申命 6:6-7；詩篇 37:31；箴言 7:1-3）
神様の御言葉を私たちの心の中にしまっておくためには、御言葉を覚えることです。私たちは聞いたこと見たことのほとんどを忘れてしまいますが、ある周期で思い起こすことで記憶を維持できます。自分の魂が必要とする時、あるいは他の人に御言葉を伝える時、記憶の中にある神様の御言葉はたいへん重要です。主イエスは悪魔から誘惑を受けた時、覚えておられた聖書の御言葉をもって、悪魔と戦いました（マタイ 4:1-11）。聖書の御言葉を覚えるために聖句を小さなカードに書いて何回も読み返すという方法も有効です。

５．御言葉を熟考する（詩篇 119:15、23、48、78、148；ピリピ 4:8）
熟考するとは瞑想し、考え、自分自身と話しをするということです。神様について、また御言葉の真理について考える時間を持つことです。静かな環境の中で、牛が餌をじっくり噛んで食べるように。朝の学びの時間で心に響いた御言葉について、じっくりと考える事も良いでしょう。内容を書きとめ、他の人にそのことを話してみましょう。

御言葉をしっかり受け入れるためには御言葉に対する姿勢が大いに影響します。熱心に御言葉を学ぶ人は、主イエスに従い、御言葉を毎日の生活の中に生かす人です。緊急に必要な時にだけ熱中して学ぶのではなく、毎日少しづつ学ぶ事によって成長していくのです。御言葉を自分の内に入れるという事は神様との霊的な交流であり、単に御言葉を学問のために細かく刻んで調べるというものではありません。

聖書の学びかた

御言葉そのものの中には指定された学びの方法は書かれていません。しかし、御言葉を学ぶ信仰者には次の特徴があります。

毎日学びの時間を確保する。
邪魔されない場所を確保する。
聖書全体を学ぶ計画がある。

キリストに従うものとなるという目標を持つ。

特別な指示がなくても、キリストに従い、学びたいという心を持って定期的に学びを続けていけば、必ず良い結果に結びつきます。御言葉を学ぶ上でいつも次の三つの事を念頭においておくと、とても有効です。

１．何を語っているか
御言葉の中の事実を確認する。御言葉の内容、特徴、細部、教義に注意する。重要なところには線を引き、気付いたことを別のノートに書いておく。十分な時間をかけ、集中して学ぶように。

２．どのような意味があるか
正しく理解するためには、読んだ個所の意味を理解しなければなりません。言葉の定義を正しく把握し、不明な時は必ず調べること。なぜその特別な事件が聖書の中に書かれているかを考える。特定の言葉や行動の影響を考える。神様はそのことをどのように思われているかを考える。教義はなんであるか。信仰者の生活にとってその教えの重要性は何だろうか。この個所の前に何が起こって、この後に何が起こるのであろうか。文脈を考える。文脈に合わない考えは入れないように。理解できない所に必要以上に時間をかけないように。質問は後で調べるために書きとめておき、理解できる個所に集中するように。

３．どのように生活の中に活かしていくか
御言葉を自分自身の生活の中にどのように活かすか、また神様をどのように理解していくかというのが、この質問の主旨です。生活に活かしていくことが学びの実です。読んだことを実際の生活の場でどのように使っていくか。聖書の学びは私たちをキリストに倣うものと変化させ、神様に対する感謝をいっそう大きなものとしてくれます。実際の生活に活かされない知識は聖書の目的に合うものではありません。神様の人格の真実さ、罪、例、命令、警告、約束に気をつけるように。学ぶ時は神様が御言葉を通して直接語ってくださるように願うように。必要な時は神様が語ってくださるのをじっくりと待つように。後で振りかえることができるように、毎日学んだことをノートに書きとめておくように。実際の生活に活かすことができるように、自分は何を学んだので何をするという具体的な行動目標を持つように。傍観者にはならないように。あなたが神様のもとで真剣に学ぼうとするなら、神様はあなたの教師になってくださいます。

聖書を学ぶための材料

聖書を勉強するための材料はたくさんあります。聖霊が導いてくださる時は、聖書

そのもので十分ですが、ここではいくつかのものについて説明します。

１．基本的な聖書
　理解できる言葉で語られた聖書を見つけることが必要です。今でも多くの方々が口語訳聖書を選びます。新改訳、また共同訳の聖書もあります。新しい信仰者はまずこの基本的な聖書から学びをはじめるべきでしょう。
２．意訳聖書
　リビングバイブルという意訳の聖書もあります。
３．辞書
　通常の辞書も御言葉の深い理解に役立ちますが、専門的な聖書辞典もあります。
４．その他
　聖書地図、あるいは歴史書も役に立ちます。

　初めには解りやすい基本的な聖書と少しの補助教材があれば良いでしょう。聖書の学びのための参考書を選ぶ時は、異端の考え方で書かれているものや聖書の信頼性を疑問視するようなものに気をつけることが大切です。

結論

　あなたは五年後、十年後には御言葉の理解という意味ではどのくらいのレベルに達したいですか。まだミルクを飲んでいる子供か、少年か、それともしっかりした食物の食べられる大人になっているでしょうか（１コリント 3:1-3)。「実際、あなたがたは今ではもう教師となっているはずなのに、再びだれかに神様の言葉の初歩を教えてもらわねばならず、また、固い食物の代わりに、乳を必要とする始末だからです。乳を飲んでいる者はだれでも、幼子ですから、義の言葉を理解できません。固い食物は、善悪を見分ける感覚を経験によって訓練された、一人前の大人のためのものです」（ヘブル 5:12-14)。

　選択はあなたにかかっています。もし私たちが信仰に入って新しく、まだ一人前になっていないのなら、神様の御手の中で成長するために「御言葉の純粋なミルク」を欲しましょう（１ペテロ 2:2)。もし私たちが御言葉において一人前ならば「固い食物」をもって訓練し、善悪を見分ける霊的な力をつけましょう。

神様の御言葉

今回は毎日、御言葉の様々な面に関する聖句を学ぶ信仰の時を持ちましょう。この練習は「神様の御言葉を食する」という話し合いの準備です。次のような順序で行なうのが良いでしょう。

１．神様の聖霊が導いてくださるように祈る。
２．聖句を何度も繰り返して読む。
３．それぞれの部分に題をつける。主点を書きとめる。自分の生活へ活かす事を考える。
４．毎日の信仰の時を持った後、質問に答えてください。

日程

１．第一日　　詩篇 19:7-11
２．第二日　　申命記 11:18-21
３．第三日　　２テモテ 2:14-19
４．第四日　　詩篇 119:9-16
５．第五日　　詩篇１
６．第六日　　ヤコブ 1:22-25
７．第七日　　復習

ワークシートの例

聖句__ガラテヤ 1:11-17_____ 日付　2003 年 4 月 10 日____
主題__人によるものではない_____
まとめ__パウロは福音をどの様にして肉と血からではなく、神様からいただいたか_____
_____
適用__神様、あなたの御言葉をいつも新鮮に受け止めることができるようにして下さい。
まず自分自身であなたの御言葉を調べてから、参考書を読み理解を深めます。_____

１．第一日　詩篇 19:7-11

神様の御言葉のさまざまな名前はあなたに何を語りかけますか。どのような特徴がここに書かれているでしょうか。あなたの生活に御言葉はどのような影響を持っているでしょうか。

２．第二日　申命記 11:18-21

「心」「手」「額」「戸口の柱」「門」という言葉から生活のどのような部分を思い起こすことができるでしょうか。またこの聖句からどのようにしたら御言葉を最も良く学ぶことができるかがわかるでしょうか。

３．第三日　２テモテ 2:14-19

どのような問題が 14 節、16 節、17 節、18 節に書かれているでしょうか。15 節での解決策はどのようなものでしょうか。神様の御言葉を学ぶ生徒となる四つの理由をあげて下さい。

４．第四日　詩篇 119:9-16

この詩には作者のどのような姿勢、または行動があらわされているでしょうか。どのようにして神様の御言葉を心の中に隠しておけるでしょうか。

５．第五日　詩篇１

この詩に描かれている「幸いな人」を説明しなさい。なぜ彼は幸いになれたのでしょうか。彼は何を避けなければならないのでしょうか。

６．第六日　ヤコブ 1:22-25

御言葉はなぜ鏡のようなのでしょうか。どのような行ないが望まれているのでしょうか。霊的に自分を欺くことと服従することとどのような関係があるのでしょうか。

７．第七日　復習

あなたの生活の中での御言葉の重要性をどのように学びましたか。この学びの結果あなたは行動や態度をどのように変えようと思っていますか。

聖句______________________________ 日付______________

主題____

まとめ____

____

生活への適用____

____

聖句______________________________ 日付______________

主題____

まとめ____

____

生活への適用____

____

聖句______________________________ 日付______________

主題____

まとめ____

____

生活への適用____

____

聖句______________________________ 日付______________

主題____

まとめ____

____

生活への適用____

____

聖句______________________________ 日付______________

主題____

まとめ____

____

生活への適用____

____

聖句＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　　　　日付＿＿＿＿＿＿＿＿

主題＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

まとめ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生活への適用＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

聖句＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　　　　日付＿＿＿＿＿＿＿＿

主題＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

まとめ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生活への適用＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿